

<学習到達目標>

【知識・技能】	基礎的な知識、技能を身につけ、表現方法を工夫することができる。
【思考・判断・表現】	豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
【主体的に学習に取り組む態度】	造形活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞しようとしている。

月	学習のねらい・内容	月	学習のねらい・内容
4	<p>【学びの実感と広がり】 ・オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆2学年の美術の学習について理解する。 ◆作品を見て印象や感想について話し合う。 ◆作者の心情や表現意図について考え、まとめる。 	9	<p>【文化の出会いがもたらしたもの】 ・ジャポニズムの表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆構図や色彩、線などに着目し、日本美術の作風や印象をとらえる。 ◆ジャポニズムの表現の特色や美しさ、作者の意図と工夫、美術を通じた国際理解について考え鑑賞する。 ◆作品の特色や美しさ、時代背景などに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組む。
5	<p>【構図に思いをのせて】 ・レンズを通して見る世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆瞬間の美しさをカメラの効果を生かして写真で表現する。 ◆瞬間の美しさなどから構想を練ったり鑑賞したりする。 ◆写真表現の特性を生かして表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。 	10	<p>【その1枚が人を動かす】 ・イメージの力で伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆文字や画面構成を検討しながら、効果的に伝えるデザインを制作する。 ◆ポスターなどからメッセージやイメージを伝える工夫について考え、構想を練ったり、鑑賞したりする。 ◆美しく印象に残るデザイン制作について関心を持ち、意欲的に取り組む。
6	<p>【視点の冒険】 ・遠近法の種類</p>	11	<p>【つくって使って味わう工芸】 ・材料の特性を生かしてつくろう</p>
7	<p>・風景をいろいろな見方で表そう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆空間をより立体的に表現するために遠近法について学ぶ。 ◆遠近法には線遠近法と空気遠近法などがあり、その効果的な用い方について理解する。 ◆実際に室内空間に遠近法を用いて表現してみる。 	12	<ul style="list-style-type: none"> ◆発想の段階、デフォルメした形、全体のバランスと構成を考えることができる。 ◆木の造形的な可能性を追求し、木目や色など素材の持つ特質を生かして基礎的な技法を知り、制作することができる。 ◆木の性質を生かして使って楽しいものを造る喜びを味わう。

評価資料	【知識・技能】	実技テスト 作品 観察
	【思考・判断・表現】	自己評価カード プリント（アイデア・スケッチ）作品 鑑賞プリント
	【主体的に学習に取り組む態度】	自己評価カード 授業プリント 作品 実技テスト 鑑賞プリント